週刊 明るい小矢部
赤旗 読者通信 改題
2021.8.1
通巻No.1523

日本共産党
小矢部市委員会
市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でもご相談を

市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322

衆議院議員
藤野保史

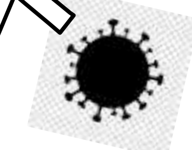
参議院議員
たけだ良介

参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

県内でもコロナ感染が拡大



東京五輪を中止しコロナ対策に全力を

「東京五輪よりも命を」、「オリンピックを中止し、コロナ対策に全力を」の多数の声を無視して、IOCと菅政権はオリンピックの開催を強行しましたが、国内で感染者が急増しています。東京都の感染者が27日には2848人で過去最多となりました。

感染力の強いコロナウイルスを検出

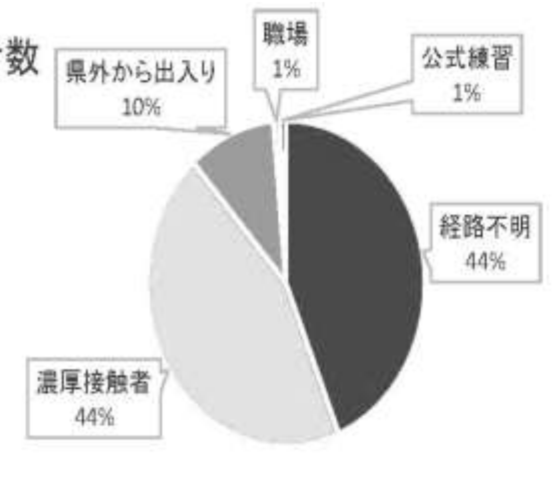
県内でも、感染力が強いウイルスの感染が確認され始めました。富山県厚生部健康対策室・新型コロナウイルス対策班が7月26日時点で発表したところによると、感染者数は2171人で、うちインド由来のL452R変位株が13人から検出されました。7月15日発表分からゲノム解析結果でインド由来のデルタ株4人が検出されました。イギリス由来のアルファ株155人です。

感染経路不明が44％ PCR検査対象者を広げよう！

6月30日発表の感染症例2053から7月26日発表の感染症例2183までの131例を集計してみると、感染経路として濃厚接触者がわかっているのは61例、県外から出入りした人の感染例は14例、職場での感染例、練習試合参加者がそれぞれ1例でした。残り60例について感染経路が示されていません。経路不明としてグラフに表したら、次のようになりました。

感染力が強いウイルスが県内にも侵入し始めている状況であり、PCR検査を濃厚接触者に限らず、対象を広げて症状のない感染者を早く発見し保護することがいよいよ重要になってきました。

	経路不明	濃厚接触者	県外から出入り	職場	公式練習
感染者数	60	61	14	1	1



ワクチン接種を急いで 感染者が児童生徒や働き盛りの年代にひろがる

この間の感染者を年齢別に集計すると、下のグラフのようになります。10代以下が13％を占め、学校や保育所、学童保育関係者のPCR検査も急がれます。20代から50代までの働き盛りの年齢層での感染も79％に上ります。一方、60代以降は8％で、ワクチン接種の効果が見られるのではないでしょうか。

高齢者のワクチン接種 1回目90％、2回目75％完了

市内のワクチン接種状況について、7月21日に開かれた市議会全員協議会に報告されました。65歳以上高齢者のワクチン接種状況は、1回目10、060人90・4％、2回目8322人、74・8％です。

高校三年生対象に 7月29日から予約受付

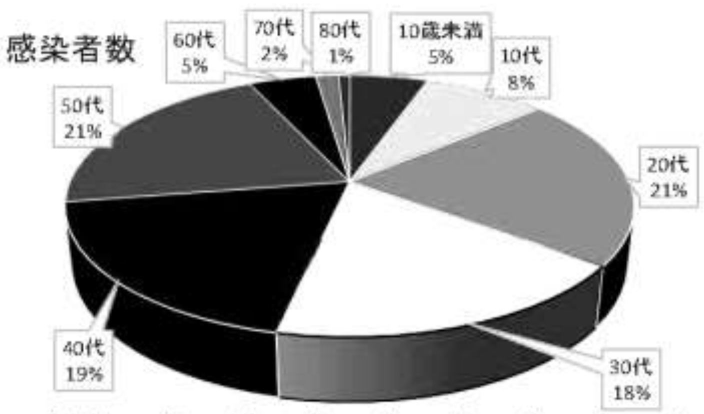
今後のスケジュールについても、次のように報告されました。

60歳から64歳までと、16歳から69歳で基礎疾患を有するものについては、接種開始が集団接種7月14日、個別接種7月27日からです。

50歳から59歳については、接種開始日7月31日、個別接種　7月27日です。

また、49歳以下は、ワクチン供給量に応じて年齢別、段階的に実施を予定します。大学受験や就職活動を控える高校三年生を対象にワクチン予約を7月29日から受付け、集団接種は8月7日から、個別接種は8月2日から開始します。

年代	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
感染者数	7	11	28	24	25	27	6	2	1



過剰米を食糧支援に 市も北陸農政局に要望

過剰米が発生する見込みから主食用米を飼料用米に切り替えることについて、砂田市議は市議会全員協議会で2つの質問をしました。

① 小矢部市に配分された12ヘクタール分への対応です。市は3経営体に協力をしてもらうことになったと答え、その他の農家には負担が及ばないことになりました。なお、先週の『週刊明るい小矢部』で紹介した飼料用米の販売価格は、1キログラムあたり数円から十数円です。

② 過剰米を国が省庁の枠を超えて買い入れ、学生や低所得者への食糧支援にまわすことについて、26日の北陸農政局での要望活動で申し入れると答えました。同日、市長や関係者から農政局に申し入れたところ、担当者は上部にこの要望を伝えると答えたそうです。